

日本の港とのつながり



関東・関西・北陸・沖縄など、日本各地から定期的に船がやってきます。特に東京港との間では、最速33時間でつなぐ高速RORO船が毎日行き来しています。

各地から運ばれてくる物



各地へ運んでいく物



世界の港とのつながり



韓国や中国をはじめ、東南アジアや北米などとも船が行き来しています。海外へ輸出している物のうち、半分近くは割合を自動車が占めています。

海外から輸入している物

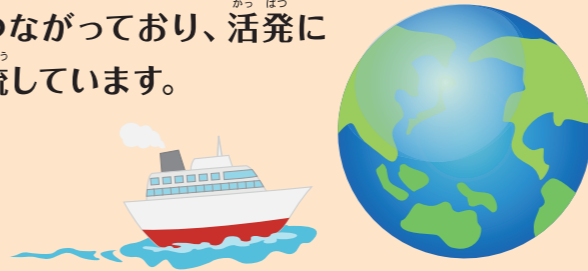


海外へ輸出している物



世界とつながる博多港 姉妹港・友好港

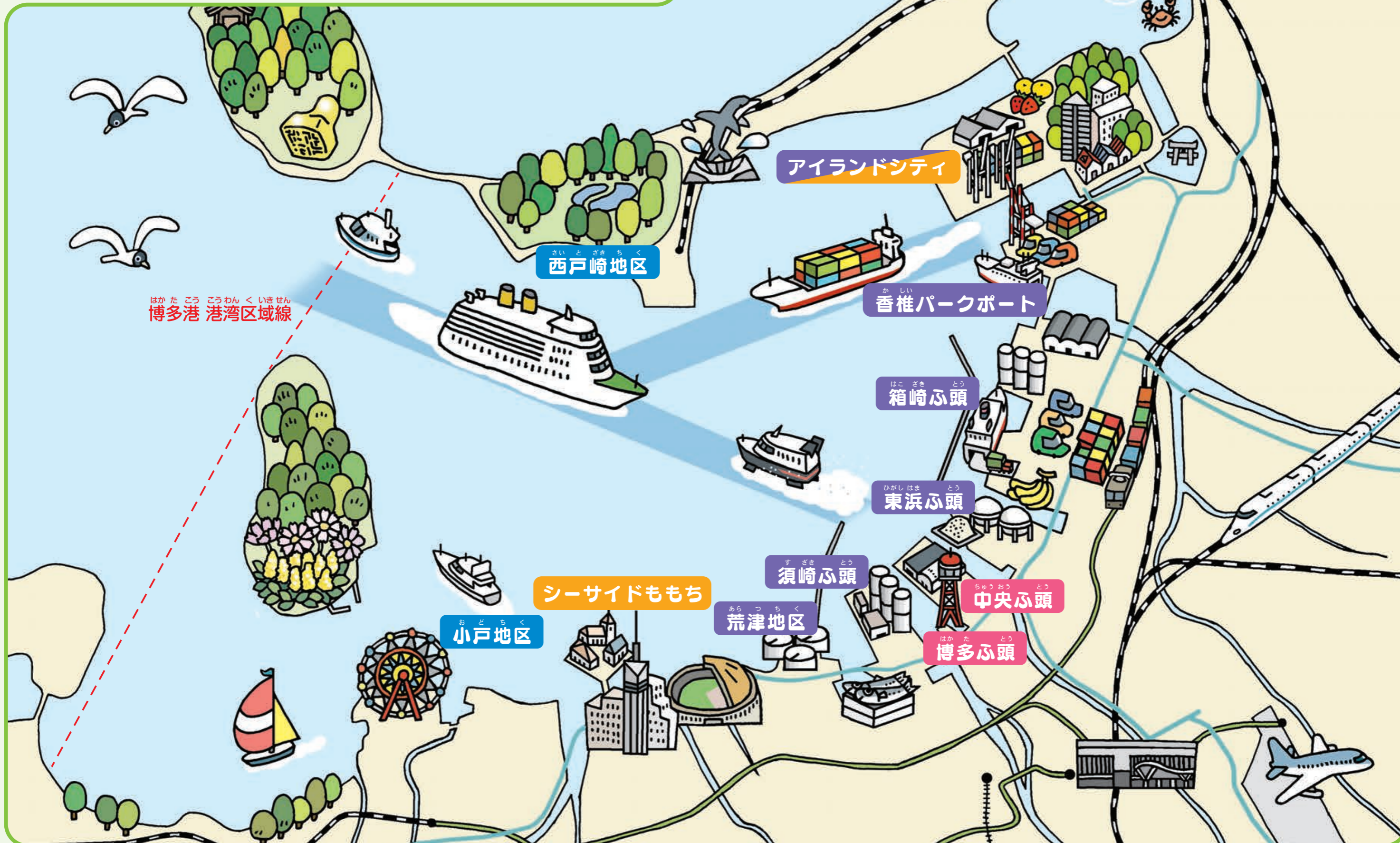
博多港は世界の様々な港とつながっており、活発に交流しています。





# 博多港について知ろう！

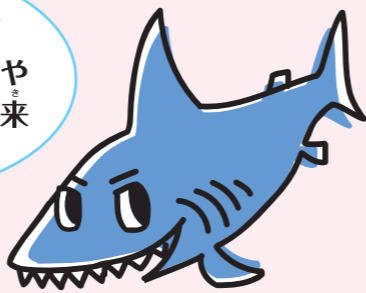
博多港では、国内や海外の港との間でモノのやり取りが盛んに行われています。また、アジアに近いという特徴から、多くのヒトが博多港を通じて往来しています。





# 人を運ぶ港

たくさんの方が  
博多港から、国内や  
海外に向けて行き来  
しているよ！



## 中央ふ頭

### 福岡の海の玄関、博多港国際ターミナル

中央ふ頭にある博多港国際ターミナルは、全国でも有数の大きな国際旅客ターミナルです。中には税関、出入国管理、検疫(伝染病の検査をするところ)など海外へ行き来する人に必要な施設はもちろん、レストランや展望デッキ、多目的ホール、会議室などもあります。



### 国際定期航路の船

博多と釜山を3時間40分で結ぶ高速船や、人だけでなく物も運ぶフェリーが就航しています。



クイーンビートル



ニューかめりあ

### クルーズ船

博多港には、様々なクルーズ船が寄港しています。



コスタ・ベネチア



飛鳥II



にっぽん丸

### 中央ふ頭クルーズセンター



中央ふ頭クルーズセンターは、クルーズ船で博多港にやってきた人々を迎えるためや、博多港からクルーズ船で旅に出る人のための旅客ターミナルです。中には、税関や出入国管理、検疫など海外へ行き来する人に必要な施設があります。

## 博多ふ頭

### 離島航路

博多ふ頭旅客ターミナルから壱岐・対馬航路や五島航路が運航しています。



「太古」  
(五島航路)



「フェリーちくし」  
(壱岐・対馬航路)



「ヴィーナス2」  
(壱岐・対馬航路)

### 市営渡船

市営渡船は、志賀島や能古島、玄界島、小呂島へ運航しています。



「フラワーのこ」  
(能古航路)



「みどり丸」  
(玄界島航路)

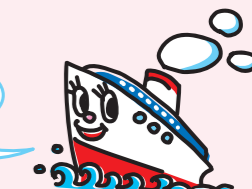


「きんいん1」  
(志賀島航路)



「ニューおろしま」  
(小呂島航路)

市営渡船は、市民の通勤や通学などの大切な交通手段として利用されているよ。





# 物の運ぶ港

## 箱崎ふ頭

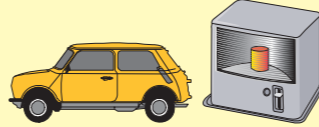
穀物や野菜、果物などの食料品や、自動車など様々な荷物を扱う博多港でいちばん大きなふ頭です。穀物を船から吸いあげる機械（アンローダ）をはじめ、立体の車両野積場や食品を保管する冷凍・冷蔵の倉庫が整備されています。都市高速道路の乗り入れ口があり、JR貨物のターミナルにも近いので九州各地への荷物の輸送にも便利です。

箱崎ふ頭は、博多港でいちばん大きなふ頭なのよ



## 荒津地区

### 石油製品



車のガソリン、飛行機のジェット燃料、ヒーターやボイラーに使う灯油などの石油製品が運ばれてきます。

### 九州で使われる石油が集まる

1年間に300万トン以上の石油製品や重油などが、主に国内の港から運ばれてきます。これらは、いったんタンクにたくわえられてから九州各地に運ばれます。100基近くの石油タンクがずらりと建ちならぶ、巨大な石油中継基地です。



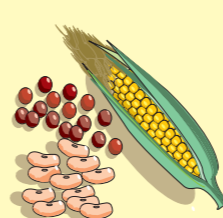
空から見た荒津地区



石油タンク

## 須崎ふ頭

### 穀物



麦、トウモロコシ、豆類などの穀物は、わたしたちの食料や動物のエサになります。

### たくさんの穀物を扱う

主にアメリカやカナダ、オーストラリアから輸入される穀物を扱うふ頭です。1時間に400トンの穀物を吸い上げるアンローダという機械や、サイロとよばれる大規模な倉庫などの設備が整っています。



海から見た須崎ふ頭



サイロ（穀物倉庫）

## 東浜ふ頭

### 建設資材

砂、セメント、鉄鋼など、建設に使われる材料が運ばれてきます。



### ビルや道路をつくる材料が運ばれてくる

ビルや道路をつくるために必要な砂、セメント、鉄鋼などを扱うふ頭です。巨大な丸いタンクにはプロパンガスが貯蔵されています。



ガス貯蔵タンク



砂の野積場



### 立体車両野積場

他の港から船で運ばれた九州各地で販売される自動車は、いったん野積場で保管されます。



### アンローダ

船で運ばれてきた穀物はアンローダで吸いあげられ、ベルトコンベアーに乗って、サイロ（穀物倉庫）に送られます。



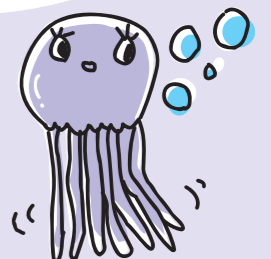
### 青果上屋

果物や野菜を保管する専用の倉庫です。なかには温度が一定に保たれ、果物などに付いた害虫を退治する設備もあります。

ふ頭によって運ばれてくる物が分かっているんだよ！



それぞれに違った設備をもっているんだね



# アイランドシティ 香椎パークポート

最新の設備と使いやすいサービスを行う国際コンテナ基地です

わたしたちの暮らしに必要な食料品、衣料品、電化製品などは、世界各国からコンテナに入って運ばれてきます。アイランドシティや香椎パークポートはたくさんのコンテナを扱うためにつくられた港です。ひと月に200隻近くのコンテナ船が24時間出入りしています。博多港と世界の港で1年間にやりとりされるコンテナのうち約9割をアイランドシティと香椎パークポートのコンテナターミナルで扱っています。



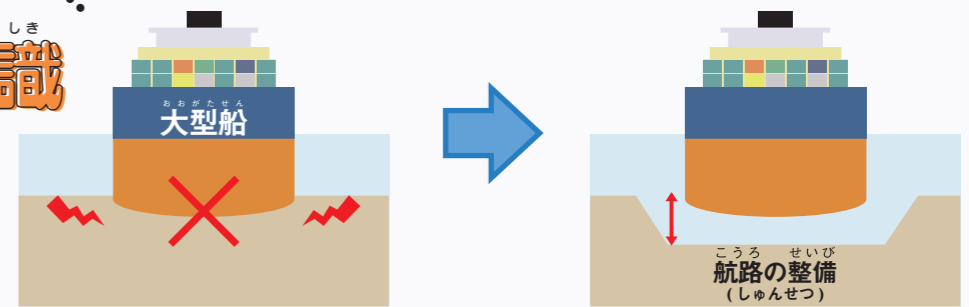
アイランドシティ

香椎パークポート

大きな船が着いたわ  
みんないそがしそうね

## ポートくんの

### 豆知識



博多湾は水深が浅く、そのままでは大きな船（大型船）が入ることができません。大型船も安全に入れるように、海底を掘って船の通り道（航路）をつくります。その海底を掘る工事で発生する土砂を活用して、アイランドシティやシーサイドももちなどの埋立が行われました。

## 海にキリン!?



港をもっと身近に、親しみを持ってもらうため、アイランドシティに設置しているコンテナクレーン1基を、キリン柄のデザインに塗り替えました。首を上げている（コンテナの積み下ろしをしていない）時の姿はキリンにそっくり！高さも100メートルあるので市内のいろんな所から見えます。ぜひ探してみてくださいね。



アイランドシティのコンテナクレーン



●コンテナ  
たくさんの物をまとめて運ぶ大きな鉄の箱です。主に長さ6メートルと12メートル（大型バスと同じ大きさ）があり、12メートルのコンテナにはランドセルならおよそ6,000個入ります。



●コンテナクレーン  
高さ100メートルを越すコンテナクレーン。ゲームセンターのクレーンゲーム機みたいにコンテナをつり上げます。



●電動トランスファークレーン  
16個のタイヤがついた、コンテナをトレーラーに移す機械。エコを目指し、空気を汚さない、環境にやさしいクレーンを使っています。



●ストラドル キャリア  
30トンもあるコンテナを積む専用車です。17台あるうち、6台が環境にやさしいハイブリッドタイプです。



●ターミナル作業  
海外からの貨物船がいつも出入りできるよう、人も機械も24時間働いています。



●税関コンテナ検査場  
コンテナを丸ごと検査できる、大型X線検査装置があり、短時間で検査が出来ます。



●完成自動車の輸出拠点  
自動車を運ぶ専用の船（自動車専用船）で、中国・韓国・台湾などへ完成自動車が輸出されています。